

MRO スキルアップ研修のコンセプト

- 基本理念／明日を担う、“ものづくり・ひとづくり・地域づくり”
- 基本方針／ものづくりの“学理”と“実践”に基づく「人財育成」「研究支援」を柱に困っている問題に協働で取り組み課題解決を支援する。

研修の体系【技術/技能】【品質管理】【生産管理】【共通】【経営】【問題解決・業務改善】とスケジュール

1. 【技術/技能】技術者・技能者のための「機械製図の勘どころ」(全9回)
8/22(水)、8/29(水)、9/5(水)、9/12(水)、9/19(水)、9/27(木)、10/5(金)、10/11(木)、10/17(水)
2. 【技術/技能】しっかり身につく「機械図面の見方・読み方」(全4回)
.....7/6(金)、7/13(金)、7/20(金)、7/27(金)
3. 【技術/技能】NC加工の基礎「加工コスト～加工基礎・NCプログラミングと加工シミュレーション」(全4回)
.....8/20(月)、8/27(月)、9/3(月)、9/10(月)
4. 【技術/技能】「ものづくりのための治具設計講座」(全2回)..... 12/6(木)、12/13(木)
5. 【品質管理】「Excelを使ったQC7つ道具の実践」..... 12/4(火)
6. 【品質管理】現場で使えるQC7つ道具「ヒストグラム・チェックリスト」..... 10/31(水)
7. 【品質管理】現場で使えるQC7つ道具「散布図・パレート図」..... 11/8(木)
8. 【品質管理】現場で役立つQC7つ道具「特性要因図」..... 11/15(木)
9. 【品質管理】現場で使えるQC7つ道具「工程能力・管理図」..... 11/22(木)
10. 【品質管理】現場で役立つ「QC工程図～量産までの“勘どころ”」..... 12/17(月)
11. 【品質管理】不良ゼロを目指す「工程FMEA」..... 12/19(水)
12. 【生産管理】生産計画の立て方入門..... 10/3(水)
13. 【生産管理】「儲けるIE入門講座」(全2回)..... 10/15(月)、10/22(月)
14. 【生産管理】「やさしい設備稼働率向上活動・TPMの目指すモノ」..... 8/3(金)
15. 【共通】「プレゼンテーション資料の考え方、作り方」..... 10/30(火)
16. 【共通】「現場監督者必携 原価基礎知識」..... 9/12(水)
17. 【共通】ブロックゲームで学ぶ「情報伝達とチームワーク」..... 12/12(水)
18. 【共通】「生産加工における機械計測技術」..... 8/7(火)
19. 【共通】「働くことと学ぶこと」..... 2019.1/23(水)
20. 【共通】「良いものづくりの基礎知識と心構え」..... 7/24(火)
21. 【共通】「会社方針に基づく日常管理のしかた」..... 9/21(金)
22. 【共通】「価値造りを目指す5Sの極意」..... 10/19(金)
23. 【経営】「マネジメント実践講座」(全2回)..... 2019.1/9(金)、1/16(金)
24. 【経営】経営戦略立案のための「SWOT分析入門」..... 11/27(火)
25. 【問題解決・業務改善】「事実から問題解決の手法を学ぶ」(全2回)..... 11/30(金)、12/7(金)
26. 【問題解決・業務改善】「現場のなぜなぜ分析」実践..... 11/16(金)
27. 【問題解決・業務改善】「製造現場のボカミス防止・ヒューマンエラー対策」..... 10/24(水)
28. 【問題解決・業務改善】「カイゼンの考え方と手法例」(省エネ改善の奨励)(全2回)..... 11/12(月)、11/19(月)

* MROでは、みなさんの会社に出向いて研修を行う[出前研修]も承っております。詳しくは、別途リーフレットをご覧ください。詳しくは、別途リーフレットをご覧ください。詳しくは、別途リーフレットをご覧ください。

受講料について

- 受講申込時に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ですが、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日1週間までは受講料全額を返還します。1週間以内の場合は全額を頂戴します。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAXなど記録の残る手段でお願いします。
注) 1週間：MRO(当財団)の6勤務日前17時までとします。

※研修内容と申し込みについては、別途研修ごとの個別リーフレットを参照ください。お問い合わせは下記までお願いします。

一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構 / <http://www.mro.or.jp/>

TEL : 0276-50-2100、e-mail : kenshu@mro.or.jp



MRO

monodzukuri research organization

平成30年度

MRO スキルアップ研修

(会場：ものづくりイノベーションセンター、テクノプラザおおた)

一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構では、設立の目的でもある独創性にとんだ人財育成と地域産業の発展への寄与を目指して、若手社員からトップマネジメントまで幅広い階層を対象とした人財育成研修を開催しております。

講師は、企業の現場経験豊富な当財団専門家が務めさせていただきますが、実績ある企業経営者や教育界のプロなど人財育成に精通した方々にもお願いいたしております。

また、講義主体の座学ばかりではなく、機械加工やゲーム形式、歩行ラリーなどを取り入れた実践にも重点を置いた研修内容といたしました。講義の合間には、講師にその場で企業課題や疑問を投げかけていただくこともできます。

必ずや、みなさまのご期待に応えることのできる研修となるものと存じます。

この絶好の機会をぜひともみなさまの企業の人財育成にご活用ください。



1. 【技術 / 技能】技術者・技能者のための「機械製図の勘どころ」(全9回)

最新版 JIS 規格に基づき製図の基本ルールを理解することにより、「図面」が描けて読みとれるようになります。また加工方法にも関連づけて製図の理解をより深め、ものづくり現場における活用度を高め、さらに材料や工数等を低減して利益を増大することにも役立てます。

2. 【技術 / 技能】しっかり身につく「機械図面の見方・読み方」(全4回)

第三角法、各図示法、寸法記入、公差、表面粗さなどの「なぜそう表すのか」をわかりやすく解説。さらに加工方法や寸法測定の基本を学び、部品のスケッチ～計測～作図～加工法案検討までを体得し、「図面を読みとる力」をしっかり身につけます。

3. 【技術 / 技能】NC加工の基礎「加工コスト～加工基礎・NCプログラミングと加工シミュレーション」(全4回)

NC工作機械の使い方、図面情報の読み方や機械加工と計測の基礎的な考え方「なぜ計測をして誤差の管理をするのか」という基本を理解し、各種計測器の使い方から最先端の数値制御 (NC) 加工までの演習を行い、加工技術全般についての幅広い知識・経験を習得します。

4. 【技術 / 技能】「ものづくりのための治具設計講座」(全2回)

素材加工方案を理解し、間違った治具設計をしないよう、治具設計の基礎を解り易く解説するとともに簡単な設計計算式で設計計算出来るようその手法を解説します。

5. 【品質管理】「Excelを使ったQC7つ道具の実践」

問題解決の各段階で効果的なQC手法の解説とExcelを使って効率的にデータを管理する方法を解説します。さらにQC7つ道具を駆使して、モデル工程の改善活動の事例問題にグループで取り組み理解度を深めていただきます。改善のPDCAサイクルの各段階で、どのQC手法が効果的なのかを理解していただき、Excelを使った効率的なデータ管理の仕方を理解していただきます。

6. 【品質管理】現場で使えるQC7つ道具「ヒストグラム・チェックシート」

多数ある品質管理手法の中から「ヒストグラム・チェックシート」について、どの程度まで知っていれば機能するのかを、品質管理手法の概要の説明と、書き方の演習を通じて習得していただきます。

7. 【品質管理】現場で使えるQC7つ道具「散布図・パレート図」

QC七つ道具を実際に使えるようになるためには、学理だけでなく実際に自分の手で作成することが重要です。この講座では、『散布図・グラフ・パレート図』の作成演習を行い、同時にQC七つ道具の役割についても理解を深めていただきます。

8. 【品質管理】現場で役立つQC7つ道具「特性要因図」

職場における問題解決の場等で頻繁に使われる「特性要因図」について、作り方と活用方法がわかりやすく解説され、またグループ演習で実際に作成することでしっかり体得出来ます。

9. 【品質管理】現場で使えるQC7つ道具「工程能力・管理図」

工程能力指数 (Cpk) の定義とデータから工程能力を求め水準把握と改善策の検討をします。管理図の定義と管理限界を計算し、管理図の作成 (Cpkとの関連付け) をします。

10. 【品質管理】現場で役立つ「QC工程図～量産までの“勘どころ”」

中小企業における製品実用化プロセスで必要となる業務フロー及び関係する帳票を明示 (業務フロー、QC工程図、製造工程の標準類、検査規格等) し、全工程の見える化を図り、問題発生を未然に予防します。仕事の仕組み化をします。

11. 【品質管理】不良ゼロを目指す「工程FMEA」

多数ある品質管理手法の中から不具合発生の予防効果が高い「工程FMEA」を解説と演習から習得していただきます。

12. 【生産管理】「生産計画の立て方入門」

ものづくりを通じて得られる付加価値の増減に大きく影響する生産計画の立て方の基礎を解説と事例演習から手法を学びます。

13. 【生産管理】「儲けるIE入門講座」(全2回)

IEが考案された背景を理解していただき、各種分析手法の紹介、主なツールを使った演習でその有効性を体得します。

14. 【生産管理】「やさしい設備稼働率向上活動・TPMの目指すモノ」

TPM活動の基本ステップを学び事例での演習 (自主考動) を体験していただきます。

※受講料 / (全9回) :MRO 賛助会員 : 15,000 円 (一般 : 30,000 円)
(全4回) :MRO 賛助会員 : 10,000 円 (一般 : 20,000 円)
(全2回) (全3回) :MRO 賛助会員 : 5,000 円 (一般 : 10,000 円)
その他 :MRO 賛助会員 : 3,000 円 (一般 : 5,000 円)

15. 【共通】「プレゼンテーション資料の考え方、作り方」

本講座では、近年著しく注目されているプレゼンテーションの本質を考え、演習を通して Microsoft Powerpoint によるわかりやすく、訴求力のある資料作りを学んでいただきます。

16. 【共通】「現場監督者必携 原価基礎知識」

原価的視野から改善活動に取り組んでいただけるように、原価の基礎知識 (会計用語) を解説し、事例演習から手法を学びます。

17. 【共通】ブロックゲームで学ぶ「情報伝達とチームワーク」

チーム力を活かして、いかに課題を解決し、目標を達成するかをゲームを通して体験します。ゲームを通して情報の捉え方、伝え方を掴み、チームでワークする仕組みを学びます。

18. 【共通】「生産加工における計測技術」

ものづくり現場での加工精度管理はコストを考えるうえで重要課題です。本講座は寸法測定の実践演習を通して製図で示された内容を読み解くことから、測定値の処理および誤差の概念を理解し、ものづくり技術を向上するための基礎を学ぶことを目的としています。

19. 【共通】「働くことと学ぶこと」

～本当の財産は失敗や挫折すること～可山優三 (かやまゆうぞう) という造語を聞いたことがありますか? 挫折を味わった多くの学生さんが自分の道を見出す支援をしてきました。さらに、知識より知恵が大切であることのほか、技術者として課題解決に大切な手法も学んでいただきます。

20. 【共通】「良いものづくりの基礎知識と心構え」

良い製品を作り出すための品質や改善の考え方を学び、QC手法を使い工程の事実やデータを上手に活用する方法、働く基本となる報連相・5W1H・三現主義・5S3定等の解説から活用の仕方、安全や健康の大切さ等々について学びます。

21. 【共通】「会社方針に基づく日常管理のしかた」

年度方針・計画に基づく日々管理の仕方、ノウハウを学ぶ。PDCA管理とSDCA管理を合わせ生産管理・生産統制を遂行する方法を学びます。日々の計画進捗・経費・作業指示まで生産の流れを捉えて日常管理するノウハウを学びます。

22. 【共通】「価値づくりを目指す5Sの極意」

5S活動が生産活動にとっても、会社の経営にとっても如何に重要かを考え、理解していただきます。また自社での活動の推進役としての考え方を身に付けていただきます。

23. 【経営】「マネジメント実践講座」(全2回)

部下をリードしチームとしての課題達成をどう進めるか 一成果が上がることによる生き生き集団づくり

24. 【経営】経営戦略立案のための「SWOT分析入門」

ISO9001:2015年版の4.1「組織及びその状況の理解」、6.1「リスク及び機会への取組み」の展開においても有効的な手法であるSWOT分析の基礎を解説と事例演習から手法を学びます。

25. 【問題解決・業務改善】「事実から問題解決の手法を学ぶ」(全2回)

現場の問題を事実に捉え解決する手法をKJ法を通して学びます。現場で起きている問題の事実の掴み方、その問題の本質のとらえ方、ディスカッションによる知恵の共有化を図りながらチームワークによる現場改善活動の進め方を学びます。

26. 【問題解決・業務改善】初心者のための「なぜなぜ分析」実践

事例を交えて「なぜなぜ分析」の基本を学び、演習課題をグループで検討し、現象から真因追究、再発防止策作成までを体験することにより自職場の問題解決に役立てます。

27. 【問題解決・業務改善】「製造現場のポカミス防止・ヒューマンエラー対策」

ヒューマンエラーの発生する原因と予防策であるポカヨケを事例を交えて学ぶ。さらにグループ演習でケーススタディを通じてヒューマンエラー対策の進め方を体得します。

28. 【問題解決・業務改善】「カイゼンの考え方と手法例」(省エネ改善の奨め) (全2回)

カイゼンの様々な考え方と実行手順を知り、からくり技術を使った改善事例をいろいろ学んで現場カイゼンのプロを目指していただきます。

※日程については裏面を、時間や詳細については各講座個別のリーフレットをご覧ください。